

消防団たずね歩き

垂水消防団名谷分団

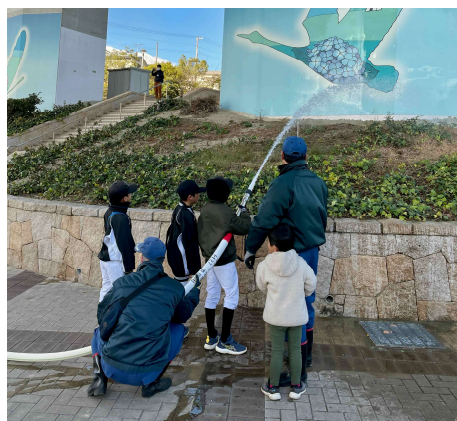
神戸市垂水消防団は、神戸市垂水区を担当エリアとし、本団以下9つの分団で組織されています。私たち垂水消防団名谷分団は、神戸市垂水区の北東部を担当し、垂水区名谷町にある器具庫兼詰所を基点に団員 27 名で活動しています。

名谷分団は結成から 57 年となり、長年に渡り地域の防災に努めております。

私たちの担当エリアは名谷町、神和台、つつじが丘、小東山で、地域の名称にもありますとおり、山や山間の地域になります。この地域は神戸市営地下鉄、JR、高速道路など各方面へのアクセスがしやすいことから、今でも宅地開発や商業施設の出店が盛んなところ です。

活動内容を紹介させていただくと、災害出動はもとより、神戸まつり、神戸マラソンの警備、年末警戒、神和台、名谷町などの防火水槽に設置されている小型動力ポンプによる放水点検、福田川奥畑河川敷での放水訓練をしています。また、明王寺、転法輪寺の追儺式での鬼追いや、東名谷・西名谷にあるため池の土手焼き時の火災警戒を担当し、地域で古くから行われる行事での安全を守っています。

名谷分団では地域との連携にも力を入れており、防災福祉コミュニティ、ふれあいのまちづくり協議会、各自治会の行事にも参加しています。



名谷ふれあいのまちづくり協議会では、七夕祭り、餅つき大会などの行事があり、多くの学生や子ども達が参加されます。そのような機会を利用し、水消火器、小型動力ポンプ、心肺蘇生の体験を実施しています。

写真は、餅つき大会での小型動力ポンプによる放水体験の様子です。毎回 100 名程度の子ども、ご家族に体験していただいています。

名谷分団はこれからも団員の技量向上に努め、防災組織との連携を深めることで、より地域の安心安全に尽力していきたいと思っております。

垂水消防団 名谷分団

団員 瀧原 将隆

防災組織と一致団結！